

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		情報教育推進事業費 [情報教育推進事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	17	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	教育指導			課			指導			係	課長名	小野 隆一
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書(ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	児童・生徒					児童・生徒数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	近年の高度情報化社会に対応した教育を進めるために、IT機器を活用しながら学習をするための環境整備ができている状態。					パソコンの設置台数						
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	各小・中学校における情報教育及び学校のICT化を図るために、一人一台端末の整備を行った。					パソコン1台あたりの児童・生徒数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	6,562	6,556	6,478						
	成果指標	②の数値	台	580	600	6,478						
	目 標	②の目標値										
		目標値設定の考え方										
活動指標	③の数値	人	11	11	1							
3 経費	事業費(実績)		円	58,958,928	61,726,320	657,800,000						
	財源	一般財源	円	58,958,928	61,726,320	461,105,000						
		特定財源(国・都・他)	円			196,695,000						
		(うち受益者負担)	円			0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	1.0						
		所要人数(再任用)	人									
	職員人件費(再任用以外)	円	412,200	415,500	8,380,000							
職員人件費(再任用)	円											
事業費+人件費		円	59,371,128	62,141,820	666,180,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成11 年度									
	(2) 環境の変化		文部科学省が定める平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針についての中で、3クラスに1クラス分程度の学習コンピュータの配備が望ましいとされていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、早急に児童生徒1人1台端末の整備が必要となった。									

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。  
 人件費(再任用職員以外)  
 年間単価は、8,380,000円  
 時間単価は、4,300円  
 で計算してください。  
 【算出根拠】平成31年度決算数値。  
 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)

事業名称	情報教育推進事業費 [情報教育推進事業]			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 小野 隆一

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	GIGAスクール構想の実現に向けた各取り組みについて。端末の配備計画や補助金の活用状況、家庭への持ち帰り学習、インターネット通信環境のない世帯への支援策、端末故障時の対応、パソコン教室の影響、授業への活用方法等。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	短期間での整備となったため、通信環境の整備や端末の選定、工事業者及び建築課との調整、ネットワーク設計、運用設計、インターネットプロバイダ変更、パソコン教室の運用調整、GIGAスクールサポーターの調整、ICT支援員の設置、端末運用研修の検討、モバイルルーターの調達検討などの関連事務が集中的に発生した。また、同年度に校務ネットワークシステム及び校務パソコン管理事務が教育総務課から移管し、統合型校務支援ソフトの導入、学納金システムの導入、セキュリティポリシーの策定等の事務も重なったため、急激な業務負担の増加となった。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	事業期間中に一部事務分担の見直しを実施した。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
担当が1人のため、業務量の分担及び関連知識の共有が必須であり、計画的な人事異動もしくは組織体制の見直しが必要。また、短期間での整備となったため、学校での運用方法等については適宜見直しを図っていく必要があると考える。また、一人一台端末は購入しているため、5年後を目途に端末の入替が発生するため、今後の入替方法等についても検討しておく必要がある。				
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： 学校教育の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名( )				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】			
	児童生徒1人1台端末整備を達成したため、円滑な運用を図っていく。校務ネットワークシステムについては、次回の更新時にサーバ室に設置しているサーバ機器についても外部委託し、保守業務の迅速化及び庁内のサーバ管理事務の削減を行う。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
GIGAスクールサポーター、ICT支援員及び保守業者を活用し、児童生徒の教育に一人一台端末が十分に活用できるように運用体制を整えていく。校務ネットワークシステムの課題等を検討し、次期更新に向けて計画を策定する。可能であればコンサルティング業者等を活用し、一人一台端末等の更新、校務ネットワークシステムの更新を合わせて検討する。				